研究課題番号	3-2103
研究課題名	先が読めない廃止期間を、半物理・半統計的に評価するための最終処分場工
	ミッションモデルの構築
研究実施期間	2021 年度~2023 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	石森洋行

1. 委員の指摘及び提言概要

研究目標に掲げた、最終処分場の廃止期間を物理モデルと実務者による実測データの組み合わせから推定し得る研究手法の開発に関しては、多くの処分場関係者との相互理解の形成やWeb アプリを用いた情報基盤・共有システムの構築、ネットワーク形成等において一定の成果が得られた。しかし、データによる予測モデルの構築・精緻化に係る目標に関しては、物理的な水みちに絞った取扱い、モデル物質とした塩化物イオンの適切性に関し、処分場内の有機物やガス相の組み込みに欠けることなどから廃止の本質的な点に有効な知見を与えないという欠陥が指摘された。加えて、学術的成果の証左となる査読付き論文の公表がなく、本研究は当初の目標を十分に達成したとは言いがたい。真摯に問題点を洗い出し、今後の方向性および道筋を示すことが必要である。

2. 採点結果

評価ランク:B